

介護予防ポイントの交換期間は1月から3月まで

### 介護予防ポイントの地域 お買い物券への交換を忘れずに

**町** が行う介護予防事業や老人クラブ活動への参加した場合などに、一定のポイントがもらえ、地域お買い物券と交換できる介護予防ポイント事業。貯まったポイントを町内で利用できる地域お買い物券に交換できる申請を受け付けます。期限を過ぎると交換できませんので、忘れずに手続きをしてください。

- ▶交換期間 令和6年1月9日(金)～3月29日(土)
- ▶申請に必要なもの 介護予防ポイント手帳
- ▶ポイント交換方法

▷役場①番窓口(福祉環境課)で交換  
▷元気倶楽部、健康体操教室、高齢者パソコン教室、ストレッチ教室、トランポリン教室の参加者は教室開催時に交換  
☎ 役場福祉環境課高齢者支援係 (☎82-1232)



産前産後の国民健康保険税減免制度

### 出産するときは 忘れずに申請を

**令** 和6年1月から、町の国民健康保険に加入している被保険者が出産するとき、申請により産前産後期間相当分の保険税(所得割額、均等割額)が減免されます。

- ▶減免対象者 町の国民健康保険に加入している被保険者で、妊娠または出産する人  
※妊娠85日(4か月)以上の出産(死産・流産・人口妊娠中絶を含む)で、令和5年11月1日以降に出産予定及び出産された人が対象です。
- ▶減免対象期間 出産予定月または出産月の前月から出産月の翌々月までの4か月間。多胎妊娠の場合は、出産月の3か月前から翌々月までの6か月間

◎減免のイメージ

	3か月前	2か月前	1か月前	出産月	1か月後	2か月後	3か月後
単胎	該当なし	該当なし	該当	該当	該当	該当	該当なし
多胎	該当	該当	該当	該当	該当	該当	該当なし

※令和6年1月分以降の税額が減免対象です。令和5年11月に産出した人は、令和5年10月、11月、12月分は対象とならず、令和6年1月分のみ対象となります。

- ▶減免額 対象期間における対象者分の所得割額と均等割額
- ▶申請受付時期 出産予定日の6か月前から。出産後も随時受付
- ▶申請方法 役場⑤番窓口(住民課税務・滞納対策係)に備えている「産前産後期間に係る国民健康保険税軽減届出書」に必要事項を記入の上、出産前に申請を行うときは、母子手帳等の出産の予定日や多胎妊娠の事実がわかる書類を、出産後に申請を行うときは、産出した被保険者と該当出産に係る子との関係がわかる書類を持参ください。

☎ 役場住民課税務・滞納対策係 (☎82-1234)



1月4日  
から

さらに便利に！気軽に！町の最新情報をお届け

### 公式 LINE がリニューアルします

**皆** さんが興味や関心のある情報を受け取れるよう、町公式のLINEアカウントをリニューアルします。ぜひ、友だち追加をお願いします。

- ▶リニューアル①お知らせ設定 事前に受け取りたい情報を設定すると、それぞれのニーズにあった情報をお届けします
- ▶リニューアル②AIチャットボット 質問に対し、24時間365日いつでもAIが自動で回答します

▶リニューアル③リッチメニュー リッチメニュー(画面下のアイコン)を増やし、情報を見つけやすくします

友だち追加は  
こちらから→



☎ 役場まちづくり課  
情報推進係 (☎82-5965)



雪が降ったり、冷え込みが厳しくなったりするときは要注意です

### 水道管凍結による漏水の予防と凍結したときの対処法

**強** い寒気が流れ込み、寒い日が続くと水道管やじゃ口が凍結しやすくなります。凍結すると水が出なくなるだけでなく、水道管が破裂して漏水が起こり、修繕に高い費用がかかってしまうこともあります。本格的に寒くなる前に、自宅などの水道管を確認して、事前の対策をお願いします。

- ◎凍結しやすい場所や状況は 水道管は、その環境により凍結しやすくなります。次のような水道管は、要注意です。  
▷屋外で露出(むき出し)している水道管  
▷建物の北側など、陽の当たらない場所にある水道管  
▷長期間の留守時や空き家など、水が流れていない水道管

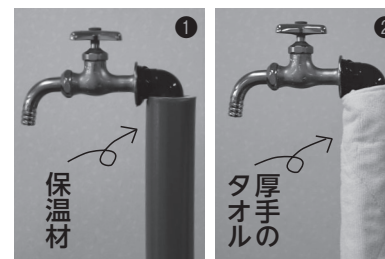
◎水道管が凍ってしまった場合の対処法

凍結した水道管が自然に溶けるのを待つか、凍った水道管やじゃ口にタオルを巻きつけ、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かしていきます。熱いお湯を急にかかけたり、凍ったじゃ口を無理にひねったりすると、破損する恐れがあります。



◎凍結を防止するには  
▷屋外に露出している水道管を保温しましょう  
屋外に露出している水道管は最も注意が必要です。保温材やタオル、布などを水道管に巻いて保温することで、凍結が起きにくくなります。

- ①屋外に露出している水道管に保温材を取り付ける
- ②屋外に露出している水道管に厚手のタオルや布を巻きつけ、濡れないようにビニール袋を巻いてその上からビニールテープを巻く



翌朝の最低気温がマイナス4度以下になると予想されるなど、冷え込みが厳しくなるときは、前夜から箸の太さぐらいに水を少しずつ出しておくのも有効です。ただし、出した分の水道料金がかかりますので出しすぎにはご注意ください。お風呂の浴槽などにためるなどしてトイレや植木の水やりなどに有効活用しましょう。

また、新聞紙や布などをビニール袋に入れて、メーターボックス内を保温することも有効です。  
☎ 役場水道課 (☎82-5961)